

泉のほとり

●三位一体後第二四主日

今月の詩篇「第二十一編」

王は主に依り頼む。

いと高き神の慈しみに支えられ

決して揺らぐことがない。



キリストの教会が

建つとろこ

神さまを信じる生活をしていて、一番大きな喜びであり、同時に必要なことは、生きておられる神さまに出会う体験です。この体験が、信仰生活を支えます。

でもその時に注意が必要です。わたしたちは、自分に何か都合のよいことが起こると、神さまの働きだと考えるからです。わたしたちが聖書を学ぶのは、そのためです。自分に起こったことが、聖書の中に書かれていることと同じ内容、同じ方向性を持つていた時に初めて、それが神さまの働きだと言えるのです。そして自分の力でできることだけをしていても、神さまの働きはわかりません。神さまが働いてくださるのは、自分の力を越えたことを、しなければならぬ時です。

わたしたちの教会も、その体験をしました。今から六八年前のことです。その当時、この土地はアメリカ軍が駐留していて、その好意で土地と建物を借りて礼拝をしていました。ところが彼らが帰国をしてもとの持ち主が帰って来ると、ここを買い取るか、立ち退かなければならなくなったのです。

当時教会は、経済的に豊かではありませんでした。それでも土地をかうお金を得ようといろいろ考え、バザーをすることにしました。家から米や砂糖などを持ち寄って食べ物のお店を開き、アメリカ軍から古い衣料品をもらって、一九四九年七月に第一回のバザーをし、三〇万円の収益がありました。これはこの土地の半分をかうことのできる大金でした

が、それでも足りないもので、一月にもう一度バザーをしました。

一年に二度のバザーを、しかも四ヶ月の間で行うのは大変です。さらにこの時は雨が降り続き、バザー当日の朝まで降り続いたので、ところが開始直前になって雨が上がりました。そして二日間のバザーが終わり、片付けが終わるとまた雨が降り出したのです。その時教会の人たちは、神さまが二日間だけ雨を止めてくださったことを知ったのです。この出来事は、わたしたちを、真実に神さまに従う群れにしました。これが教会記念日です。

でも、雨を止めてくださった神さまは、同時に雨を降らせた神さまです。どうして神さまは雨を降らせて、皆が苦勞するようになさったのでしょうか。

神さまはわたしたちの先を歩かれる方です。決して、わたしたちの後をついて来られる方ではありません。ベトロは主イエスを、「生ける神の子、メシア」と告白しました。わたしたちが従うべきお方だと言ったのです。主イエスは、そのベトロの告白の上に、わたしの教会を建てると言われました。わたしたちは、主イエスを通して示された神さまの御心に服従します。決して自分が前に出ることはしません。それが教会の土台だからです。

祈り

厳しい試練の日々がありました。わたし共にとつて、ただ悲しいこと、辛いことだけでなく、幸せなこと、喜びもまた、わたし共の信仰の試練となります。そのために、かえって真実にあなたを神として礼拝することに誠実に心を尽くすことが、できなくなるからです。しかし、そのようなわたし共にも、抜かれた肉体を励まし、しほみがちな心を自分で励まして、ここに来ることができるだけだけの信仰を、あなたが与えてくださいました。

主イエス・キリストの父である御神。わたし共の父である御神。今、あなたがそのようにわたし共を連れていてください、全世界の教会を受け入れていてくださることに、大きな驚きを感じるものがあります。

短い人生であります。この礼拝堂に、これから後、何回来ることができようかと思え考えてしまおうわたし共の歩みであります。それでも、それだからこそ、ここにまいりました。とこしえのいのちの言葉に生かされたいと願うからです。御言葉をお聞かせください。あなたの厳しさを知りつつ悔い改める真実の心を与えてください。御霊を注いでください。

教会に初めて来た者も、何十年とここ

に通い続けている者も、あなたが差別されることはないことを信じていることができますように。知識の浅い深いにかかわらず、最も相応しい形で、あなたがわたし共を捉えてくださることを信じさせてください。ここにいらっしゃる者だけのことでありません。家に置いてまいりました者、離れて生活しております者、あなたから顔を背けてしまっている者、わたし共の祈りも愛も叶わないと思ってしまう現実にあります者、彼らを皆、等しく捉えてくださいますように。病床の友を励ましてください。人生の闘いに疲れ果てている者に、望みを失っている者に、自分ももう駄目だと思っている者に、誰の励ましの言葉も通じなくなっている者に、あなたの励ましが聞こえますように。

教会を立たせてください。困難な状況にあればあるほど、証しをすることの喜びに奮い立たせてください。わたし共の教会に、みなぎる献身の力を与えてください。小さなひとつひとつのわざがあなたに喜ばれ、人に喜ばれることを望むことができますように。つまらないことばかりを捨てさせてください。自分の体面にこだわりの心を捨てさせてください。そこに罪があることを悟らせてください。あなたの栄光をほめたたえることにすべてを注がせてください。今、この礼拝をそのような礼拝として聖め、用いてください。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後は、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○昼食後、クリスマスMASの飾り付けをします。役割分担は以下の通りです。

礼拝堂玄関上 教会学校・スタッフ

礼拝堂内 礼拝部・スタッフ

エントランス 礼拝部・スタッフ

ロビー・事務所前 伝道部・幼稚園

ホール 教会学校部・幼稚園

○古村牧師は三〇日(木)一二時半から、明治学院大学横浜校舎で行われる礼拝で説教の奉仕をします。

○紫園香音楽伝道師は、本日は、広島白山教会で礼拝とコンサート、一二月二日(土)は、三条福音キリスト教会でコンサートの奉仕をします。お祈りください。

○先週行われた説教熱のシンポジウムは、百名を超える牧師・信徒が集まり、充実した研究発表と講演が行われました。特に二三日に品川教会礼拝堂で行われた公開シンポジウムと伝道派遣礼拝には、礼拝堂一杯の人が集まり、共に日本伝道の思いを熱くすることができました。参加しました支えてくださった方々に感謝いたします。

四国だより

(先週のつづき)

金エシュルン牧師先生は、九州にて「フルゴスベル福岡教会」の主任牧師として、また九州地方教会十二カ所の牧会と、英語幼稚園レインボースクール、FCISフクオカクリスチャンインターナショナルスクールで小学・中学・高校生を指導なさって、忙しい毎日のご様子です。

数十年前ぶりに恩師にお目にかかれるということ、神学生時代に金エシュルン先生に提出したレポートを捜しましたところ、「キリスト論」、「聖霊論」、「異端論」などが出てまいりました。こんな現実を与えてくださった主のサブライズに感謝です。

願いを起こさせ、かつ実現にいたらせるのは神であって、それは神がよしとされる事である。

一人一日研修も、恩師との数十年前ぶりの特別なる再会も、全ては主の御手の中で計画が進められていた事を思うとき、やはり「主よ、わが杯は溢れます」と、御前に平伏す思いがいたします。

十月も主の慈しみと深い憐れみに

包まれて牧会が守られました事、感謝です。品川教会の古村先生、黄先生、そしてお懐かしい教会員の皆様の尊いとりなしのお祈りを覚えるとき、安らぎと希望が与えられます。有難うございます。

一月一日 田端良恵 記

くるみ入りケーキ

今年も「くるみ入りケーキ」を販売します。

ご希望の方はロビー掲示板の

注文表にご記入ください。

ホールは一六〇〇円、

ホールは八〇〇円です。

限定数になり次第締切となりますので、お早めにお中込ください。お渡しは12月3日です。



聖書の会

11月29日(水)

○朝の聖書の会 10時

「求めさせるためである」

使徒17章22〜34節

黄允湜 副牧師

○単書の夕べ 19時

「見せかけとの決別」

ルカ20章45〜21章25節

古村和雄 牧師

ミニコンサート

12月14日(木) 13時開演

「サイレント・ナイト」他

ハンドベル演奏

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 主を待ち望む 97番

説教 「思いがけない時に」

聖書 マタイ24章36節〜44節

説教者 黄允湜 副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 95番 376番

詩編 第50篇

説教 「弱いときにこそ」

聖書 II コリント12章1節〜10節

説教者 古村和雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 小さいこどもの

461番

説教 「自分を救えない救い主」

聖書 ルカ23章32節～43節 (新約P158)

司式者 山名隆史 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「教会ソナタ」W.A.モーツァルト

- 小さいこどものサムエルは
- 1 小さいこどものサムエルは
神さまの呼ぶ声、聞きました
「サムエルよ、サムエルよ」
- 2 小さい声で今日もまた、
神さまの呼ぶ声、聞こえます
ぼくの名前も、わたしのもの
「しもべは、聞きます 主よ、お話をください」

○ ピアノによる讃美
「あめにはみつかい」 讃美歌158番

○ 讃美歌461番

1. 主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらず
※ わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われをあいす
2. わが罪のため さかえをすてて
天よりくだり 十字架につけり
(※ おりかえし)
3. みくにの門を ひらきてわれを
招きたまえり いさみでのぼらん
(※ おりかえし)
4. わが君イエスよ われをきよめて
よきはたらきを なさしめたまえ
(※ おりかえし) アーメン

聖餐曲「野のユリへ」E.ワグネル

後奏曲「神は天の栄光に語り」B.バルト

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 6番 533番

詩篇 第21編 (旧約P851)

説教 「思い煩いからの解放」

聖書 マタイ6章24節～34節 (新約P10)

司式者 山名隆史 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允澁 高牧師

前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声あり」J.S.バッハ

○ 讃美歌 6番

○ パリトンによる讃美

「神はそのひとり子を」 曲：柳瀬佐和子

神はそのひとり子を 与えたほどに
世を愛された

それはみ子を信じる者が

ひとりもほろびることなく

永遠の命を持つためです

だからいま 心ひらいて

主のもとへ 主のもとへ

永遠の命を持つためです

○ 聖歌隊による讃美

「庭の谷川を」 G.P.ダビド

庭の谷川を 慕いあえぐごとくに

わが霊は 主を慕う

慕いあえぐ

わが霊は 主を慕いあえぐ

み神をば 慕いあえぐ

生ける主をば 慕いまつる

○ 讃美歌 533番

聖餐曲「主イエスキリスト至高の愛」J.S.バッハ

後奏曲「神は天の栄光に語り」B.バルト

* 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。